

第2協議題（進路指導について）

発表者 所属校 群馬県立館林女子高等学校
役 職 P T A 会長
氏 名 松井 寿雄

「本校の P T A 活動と進路指導」

1 本校の概要

本校は、大正6年に館林町立実科高等女学校として開校しました。大正11年には、女子の普通教育を望む地域の声を受け、館林町立高等女学校と改称しました。翌12年に県に移管し、群馬県立館林高等女学校と改称しました。その後、学制改革により、昭和23年に群馬県立館林女子高等学校と改称し、平成29年には、創立百周年記念式典が挙行されました。

そして、今年創立104周年を迎えた歴史と伝統を誇る女子高校です。



本年度文化祭「友誼祭」入退場口
(感染症対策に万全を期し、限定公開で行いました。)

〈校 訓〉

自律自治	自らを律して規範に従い、進んで行動しよう。
温雅健康	優しく上品で、心身ともに健康な女性になろう。
敬愛親和	互いに尊敬の念をもって接し、みんなと親しみ仲良くしよう。

2 P T A 組織について

本校は、現在支部制を取り入れています。館林市、邑楽郡、太田市を12支部に分けて、支部長・副支部長・学年委員を選出しています。選出された方々は、総務部、生活部、進路部、文化部のいずれか一つに所属します。本部役員、各支部の支部長・副支部長、学年委員長が、校長、教頭、担当教員とともに、評議員会を構成し、P T A 総会に次ぐ議決機関となっております。

・主な P T A 行事（今年度 予定も含む）

- 4月 P T A 入会式、本部役員会、評議員会
- 5月 P T A 総会（書面評決）、P T A 新聞発行
- 6月 県高校 P T A 連合会総会（書面評決）、本部役員会
- 7月 友誼祭（文化祭）参加
- 8月 全国高校 P T A 連合会大会島根大会（オンライン）
- 9月 県下一斉マナーアップ運動

- 10月 東毛地区指導者研究集会、P T A新聞発行
- 11月 県下一斉マナーアップ運動、県高校P T A連合会指導者研究集会
本部役員会、評議員会、本部役員選考会
- 3月 P T A新聞発行、卒業祝賀会、入学予定者説明会、本部役員会

3 進路指導とP T A

(1) 過去5年間の進路状況

年度 \ 内訳	卒業者数	大学	短大	専修各種	就職	その他
平成28年度	235	139	25	57	3	11
平成29年度	232	140	19	57	2	14
平成30年度	238	139	25	64	4	6
令和元年度	238	154	20	57	1	6
令和2年度	196	118	22	47	3	6

(2) 主な進学先

- 国公立大学 群馬大学 新潟大学 静岡大学 群馬県立女子大学
群馬県立県民健康科学大学
- 私立大学 自治医科大学 獨協医科大学 群馬医療福祉大学 群馬パース大学
高崎健康福祉大学 女子栄養大学 獨協大学 文教大学 神田外語大学
大妻女子大学 北里大学 昭和女子大学 順天堂大学 成蹊大学
大東文化大学 東洋大学 東京家政大学 東京女子大学 東京電機大学
日本大学 日本女子大学 立正大学 神奈川大学 等
- 短期大学 佐野日本大学短大 育英短大 大妻女子大学短大 等
- 専門学校 太田高等看護学院 館林高等看護学院 等

(3) P T A進路部の活動

生徒の進路実現をサポートする事業を行っています。生徒は学校説明会に参加し、大学側の説明を聞いたり施設を見学したりして、志望校を決めます。一方、保護者の方は、そのような機会に必ずしも参加できるとは限りません。そこで、保護者の方に大学の現状を理解していただくために進路研修視察を行っています。

過去5年間の視察研修先

- 平成28年度 東洋大学白山キャンパス・丸の内散策
- 平成29年度 日本女子大学、東京ドームホテル、銀座エリア散策
- 平成30年度 実践女子大学、銀座エリア散策
- 令和元年度 東京工科大学

令和2年度 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止

実践女子大学を視察研修した際、大学の説明をなさった方は本校の卒業生でした。また、実践女子大学の創始者下田歌子氏は、大正8年と同11年来校され、開校当初の本校に講演してくださいました。このように本校との結びつきの強い大学であり、平成30年度の「PTA新聞」では、次のように報告されました。

「都心型大学でもある校舎（創立120周年記念館）は、2014年に建設、地下1階、地上17階と高層化したオフィスビルを連想させるモダンでとてもきれいな建物です。また、セキュリティに関しても各人IDがないと入館できない程の厳重さでした。

（略）大学の方針や教育理念（品格高雅にして自立自営しうる女性の育成）、各学部、生徒のキャンパスライフの様子などを伺いました。その中でも、J-TAS（jissenn total Advanced Surport）という大学独自のシステムを構築し、多方面からのデータ分析、情報の共有ほか、一人一人にあったプランニングなど、広く社会との融合を目指し、社会に寄り添う女性を育成するというプロジェクトがありました。」

全館にわたって外部からも部屋の中で何が行われているのか、見ることのできるキャンパスでした。恵まれた教育環境のもと学ぶ女子大生のことを羨ましく思いました。

令和元年度の東京工科大学の視察研修は、豪雨のなか行われました。台風の影響で湿った空気が関東に流れ込み、千葉県では半日で1ヵ月分の降雨量が記録された10月25日（金）のことです。都心で昼食となりましたが、滝のような雨に驚かされました。午後の予定はすべてキャンセルとなりました。時間に余裕をもって出発したのですが、交通渋滞が続き、予定されていた時間に大学に到着することができず、限られた時間の視察研修となりました。

医療系大学のため、例年より参加者が少なくなりましたが、ご息女が医療分野に進学を考えているという保護者の方が、大学側の説明に対して真剣に質問するなど、密度の濃い時間を過ごしました。

令和2年度と本年度については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、視察研修は中止となりました。

4 おわりに

「コロナ後」という言葉をよく耳にしますが、私たちPTAは今後どのような進路事業を進めるのか現在模索中です。昨年度から15クラスとなった本校では、PTA予算の関係から、従来と同様の活動を行うことが難しい状況になっています。生徒のために何が必要か、常にそれを念頭に置きつつ進路事業を進めていきたいと思っております。



上の写真は今年7月9日（金）・10日（土）に行われた友誼祭の際の書道部のパフォーマンス作品で、次の言葉が書かれています。

平凡な日々がイヤになったら
新しいことに挑戦しよう
失敗したっていいじゃん
未来を切り開くのは
他の誰でもなく自分なんだ
決して諦めるな
夢を追いかけて
次の舞台へ一歩踏み出せ
前進
友誼祭館女書道部

昨年開催できなかった友誼祭を、本年度4年ぶりに開催することができました。体育館に掲示されたこのメッセージを目にして、私たちPTAは館林女子高等学校の生徒たちを改めて誇りに思いました。

生徒たちが希望の進路を実現し、笑顔で卒業できるよう、微力ではありますが、PTAとしてできるだけのことをしていきたいと思えます。